

研究課題名	インシデントレポートからみた麻酔科医のレジリエンス
研究機関名	武蔵野赤十字病院
研究責任者	所属 麻酔科 氏名 齋藤裕
研究期間	(西暦) 2024年4月 ~2024年10月
研究の意義・目的	患者影響度レベル0もしくは1のインシデントレポートには、そもそもエラー自体が事故に結びつかない場合と、エラーは発生したが事故にいたらなかった場合の2つが混在している。 後者には有効なレジリエンスが含まれることがあり、本研究ではこれらのレジリエンスを抽出し、あわせてSafety IIの考え方からレジリエンスを活用した安全対策や業務手順が存在しているかを検証する。
研究の方法 (対象期間含む)	抽出したインシデントレポートから患者に関する個人情報および報告者の個人情報を削除し、概要、状況、経過、要因、対応の各欄の記載内容についてレジリエンスエンジニアリングで用いられる4つの能力(監視、予見、対応、学習)が発現しているかを検討する。分析にはFunctional Resonance Analysis Method (FRAM、エリック・ホルナゲル: 社会技術システムの安全分析、海文堂2013による)を用いる。 また、麻酔科ではさまざまな安全対策や業務手順が策定されているが、これらがインシデントレポートにみられたレジリエンスの成果を反映しているものかどうかを検討する。
①試料・情報の利用 目的及び利用方法 (匿名加工する場合や 他機関へ提供される場 合はその方法含む) ②利用し、又は提供す る試料・情報の項目 ③利用する者の範囲 ④試料・情報の管理 について責任を有す る者の氏名又は名称	①インシデントレポートのうち収集する項目は「概要」、「状況」、「経過」、「要因」、「対応」の各欄の記載内容であり、これらには個人が特定されるような情報は含まれていない。 ②麻酔科医が作成したインシデントレポートのうち患者影響度がレベル0および1のもの ③研究責任者 ④研究責任者 麻酔科 齋藤 裕
問合せ先	当研究に自分の試料・情報利用を停止する場合等のお問い合わせ 〒180-8610 東京都武蔵野市境南町1-26-1 武蔵野赤十字病院 所属 麻酔科 氏名 齋藤裕 TEL : 0422-32-3111 (代表) 6812 (事務局内線) FAX : 0422-32-3525